THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2017-2018）
国際会長主題 ："Let Us Walk in the Light - Together"「ともに、光の中に歩もう」
アジア会長主題："Respect Y's Movement"「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題："Healthy mind & healthy body make healthy club"「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中西部部長主題：「未来には希望がある」"Hope for the Future"
クラブ会長主題：「クラブのみんなと共に輝こう！」

Monthly Bulletin
第 250 号
2017 年 11 月

聖書のことば

わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。・・・

（フィリピの信徒への手紙 1章9～10 節）

選者　杉浦 眞喜子

11 月第１例会プログラム

日時：2017 年 11 月８日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　大橋　昌美

1. 開会点鐘　吉岡香代子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　杉浦眞喜子
4. ゲスト・ビジター紹介　吉岡香代子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. 卓話 *「杉原千畝とユダヤ人たち」*
   笠井　恵二さん
   （中部学院大学名誉教授・神学博士）
8. お誕生祝い
9. ニコニコ献金　ドライバー
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　吉岡香代子会長

例会当番（A）　受付当番（D）

10　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		B F 統 計			
メンバー	15 名	出席者	15 名	日本	30ｇ	累計	2,280ｇ
ビジター	3 名	メイキャップ	2 名	外国	0ｇ	累計	1,285ｇ
ゲスト	3 名	合　計	17 名	現金	円	累計	円
コメット	1 名	在籍者	20 名	提供者：今井、武井、吉田			
合　計	22 名	出席率	85%				

10 月例会報告

「ちはるワールド」アコーディオン・コンサート

瀬島 恵子

秋の訪れを感じる夕べ（11 日）、体調も回復して２ヶ月ぶりに 10 月例会に出席。吉岡会長の開会点鐘の後のワイズソングを、吉田さんのフルート、ゲストの寺田ちはるさんのアコーディオンとの合奏で歌うことが出来ました。

はつらつとしている女性だなと感じた彼女は食後､「ちはるワールド」を展開、思いもよらぬ楽しい時間を与えてくださいました。懐かしいシャンソンにパリの秋の風景を思い描き、音楽に合わせて身体が自然に動き出したり、若き時代を顧みたり、その上アコーディオンと言えば何となく子供時代を思い出す楽器が、今風の装飾や形態の説明で時代の流れを感じました，と言っても直接奏でたことのもない楽器で、大岸さん、大橋さん、柿本さん、牧口さんと寺田さんの５人が「ドレミの歌」を即興され、一同は手拍子で大いに盛り上がりました。その後ロシア民謡「黒い瞳」タンゴ「クンパルシータ」etc、ラテン音楽へと移り行きました。最後には持参されたマラカス、ギロなど様々な打楽器を私達に貸してくださり、「高校３年生」「いつでも夢を」はノリノリ気分で、そうかと思うと「高原列車」を合唱中、ナフキンやハンカチを振ったり、投げたりと、とても楽しい方達の集まりで秋の夜長はふけてゆきました。

第 21 回中西部部会に出席して

今井　利子

９月 23 日(土) 秋たけなわの秋分の日、第 21 回中西部部会が、センテニアルクラブのホストで、ホテルグランヴィアにて開催された。９クラブのバナーセレモニーから始まり、吉岡会長の登壇に大きな拍手をおくる。なかのしまからは 14 名の出席であった。一部での来賓代表大野理事からは「来年大阪クラブが 90 周年を、やがて 100 周年も迎える、その一番身近かな中西部、100 年を元気に迎えよう」とのご祝辞を。松野副総主事からは「未来には希望がある」と大村部長の主題の如く、希望を持って語る事が YMCA を支えること、と励ましを頂いた。

２部は、私たちにも懐かしい「青い目の人形」アメリカ生まれの平和の使者のその後のお話であった。人形も 90 歳を迎え、いくつかの人形を訪ねられた山田眞知子さんのお話であったが、親善大使になってパスポートまで発行された話や、その当時返礼に、渋沢栄吉氏が音頭とりで日本人形 58 体が渡米し、その内 44 体が今も大切に残っていることが確認されたとことなど、心躍らせるお話はつきない。日本で残っているのは限られているが、その内の８体の人形は、同窓会を作り、子供園などで大切に保護されているという。両国で残された人形たちへ親しみと愛着を禁じ得ないお話であった。

谷川メンのお祈りに続き、懇親会。バックウッズマウンティニアーズの演奏をバックに交流会は楽しいひと時。三浦会長の閉会挨拶に続き大村部長の閉会点鐘を最後に、ホストのメン、メネットに見送られ、いい思い出を残しつつ会場を後にした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

中西部 EMC シンポジウムに参加して

武井　和子

９月３０日（土）大阪 YMCA 会館３０２号室で中西部ＥＭＣシンポジウムが開催されました。席順がとてもユニークで丹吾礼主査の優しさと真面目さの表れでしょうか？ワイズメンズクラブでの活動歴の近い方が同じテーブルに着席し、シンポジウムが始まりました。

講演者は西日本区 EMC 事業主任三科仁昭さん「ＥＭＣはサイクル」をテーマに講演されました。あるワイズメン（ご本人）のワイズサイクルを例に話され、クラブチャータは火山の噴火と例え、EMC はマグマが溢れ出る魅力ある例会！と講演されました。各クラブから EMC の取り組みの紹介があり、なかのしまクラブは大岸さんが代表して紹介してくださいました。

ワイズ将来構想特別委員会委員長森田恵三さんが「ワイズお起し」は中西部から、新陳代謝の必要性と、一年制任期のため継続した活動発展の成果が得られない点などを話されました。休憩をはさんでワイズ歴の近い方との話し合い、多数の意見がでましたが、残念ながらタイムアウト、もっと時間をたっぷりとりながら、ワイズ活動、ＥＭＣ等意見交換を行いたい・・・。

第２部懇親会は楽しいところに人は集まるをテーマにフェスティバルタワー１２階「ラルゴ」にワイズ歴の近い方とお話しを進めるため指定されたテーブルに着席し、乾杯して、美味しいお料理、素晴らしい夜景と楽しいお喋りが続きワイズの友人の輪が広がりました。

中西部 YYY フォーラムに参加して

藤井　弥生

１０月７日（土）六甲 YMCA で開催されました。１０時開会式、大村中西部部長のご挨拶と開会宣言・点鐘ではじまりました。

施設整備と清掃ボランティア。雨のため各部屋の窓ふきです。たまたま抽選でなかのしまの方がそろい、第２研修館の窓、網戸、廊下の清掃しました。たいへん頑張りましたので、お腹もすきました。お昼おいしいカレーをいただきました。おいしかった。

午後、YYY フォーラムの開催、１部はパネラーからの発題。YMCA からは内山雅文様の「ブランディング」について。ユースは HIS の生徒さんから。ワイズからは奥田時夫様（大阪土佐堀クラブ）のワイズの素晴らしさについて、など。その後みんな和気藹々の話し合いでした。

２部は、フルート（吉田由美さん）、バンジョー（柴田光雄さん）の楽しい音楽を聴き、楽しく歌いました。

雨も上がり　六甲での楽しい一日が終わりました。この後バーベキューの懇親会もありました。

雨の中の　チャリティーラン

吉岡　香代子

前日の天気予報では１０月１５日（日）は朝から小雨でしたが、当日はやはり霧雨が降っていました。午前５時過ぎのメールで「開催します」と連絡があり、鶴見緑地公園に行きました。８時過ぎに現地に行くと、もうテントや特設ランニングコースにはコーンが置かれていて、リーダーＯＢ・ＯＧやスタッフが7時頃から設置されたそうです。

参加グループは、たすきリレー（順位性・１０ｋｍ）２０チーム、グループラン（約５ｋｍ）５０チーム、１０ｋｍラン１５名、ファミリー・キッズラン（約１ｋｍ）６０組と前年よりそれぞれ増加しています。段々と雨が本降りとなり、チームの順位が放送されていたのですが良く聞こえませんでした。

なかのしまクラブは、豪華賞品が当たるチケット販売とその景品渡しをお手伝いしました。参加チームの表彰式も早々に終わり抽選会が始まりました。ナント！ナント！なかのしまクラブの藤好基子さんに一等賞のホテル・ザ・リッツ・カールトン大阪のペア宿泊券、大橋昌代さんに神戸製鋼所のラグビーの観戦券が当たりました。その他預っていたチケットの賞品を受取ってハヤバヤと私達も帰路に着きました。

ブリテン 20 年[5]

桑原　頼子

基本的にはＡ４、４頁ですが、６頁、８頁だったこともあります。たくさんの記事があったのですね。文字を小さくし、行間を詰めてと、苦労の跡も見えますし、新聞のように空きスペースを無くすために隅まで埋めました。

第１号は、まだ記事がなかったので２頁。２号はチャーターナイトのことが中心。３号からニコニコメッセージを掲載しています。これは例会にご参加いただいたゲスト・ビジターのも掲載していて、例会出席者の記録にもなりますし、全員が書くので、報告記事よりも個人の様子、欠席メンバーの消息なども分かって楽しめると、この欄は好評です。例会中に書く時間がなく白紙で出された場合は、ビジターにもメールで催促することもあります。

メンバーの推移が分かる「新メンバー紹介」は、入会後初めて書く原稿なので、緊張の度合いがうかがわれますが、迎えるメンバーにとっては期待を持って楽しく読めたでしょう。

初期には、他クラブの男性メンに執筆をお願いしたことがありましたが、その後ほとんどはメンバーだけで外からのゲストに書いていただくことはありませんでした。

ずっと、シリーズやコラムを掲載してきました。誰に何を書いていただくかを考える作業は大変でした。「コラムお願いします」と、半年６回または１年 12 回を続けて書いて下さった方々には感謝です。20 年の間には、何度も書いて頂いた方もありました。コラムは読み手には楽しいですが、書き手にはどうでしたでしょう。「もう書くことがない」と言われ、ヒントを出して「これで何とかあと２回絞り出して！」と言ったこともあります。

たまには違ったことをと思い、ワイズ・YMCA とは無関係のことでシリーズを掲載すると「これはダメ～」と。でもそうしてこうして、報告記事以外の記事を埋めたのです。

「YMCA は私」　No5

山佐　亜津子

「YMCA スタッフの仕事の魅力は？」よく聞かれる質問です。経験を積むにつれてその答えは色々と変わってきますが、いつも返す答えのひとつは、「こんなに学ばせてもらえる組織はない」ということです。何でも勉強するにはお金が必要。社会人になっても自分で勉強のために投資している人はたくさんいます。でも YMCA では、例え安くともお給料をいただいて学ばせてもらえる。こんなお得でありがたい仕事はないよ、と。もっとも、勉強もやらされ感を持ってしまうと、お得であるとは思えないのでしょうけれど。

実際多くの研修からも、仕事からも、そして会員活動等を通しても、ものすごく多くの知識とスキルを得られましたし、入職時には意識もしていなかったボランティアや、人と人、人と社会の繋がりを作ることの意味などは、会員活動の中で一緒に動きながら、熱い議論を交わしながら分かっていったことでした。ぶっちゃけてしまうと、スタッフにとっては業務の事業活動も、一会員としてのボランティア活動も、同じＹＭＣＡの中であり境界がありません。ですから祝日や日曜日等のボランティア活動も仕事の延長であり、無給＆無休という感覚で、そこにしんどさを覚える人もあります。体力が自慢の私も、さすがにずっと立て続くと、頭も気持ちもオフセットしたいと思うこともあります。でも別の角度から捉えてみると、仕事もボランティアもできて、それらが関連しているＹＭＣＡは、スタッフにとって恵みであり、トータルライフと言えます。それが自分にとって意味づけがあり、楽しさがあれば、何と豊かな人生なのでしょう。そう思えるのは、キリスト教が基盤であることはもちろん、心から敬愛できる人間性豊かな先輩スタッフ、会員さんとの関わり、そしてここで育ってくれた学生生徒たちの姿です。私がＹＭＣＡで学んだことは、人生なのです。

アトリエゆうハウス六甲山 BBQ

國友　朝子

９月２０日(水)に六甲山 YMCA のグランドに於いて、アトリエゆうハウスの皆さんとなかのしまクラブは昨年に続いて２回目の合同バーベキュー昼食会を開催しました。

思えば昨年は土砂降りだったため屋根の下でのバーベキュー。それはそれで面白い体験でしたが今年はきれいな秋晴れとなり、六甲山の心地よい風が吹き抜けるグランドでの活動です。なかなか炭が燃えてくれなくて煙が目にしみる火おこしも、お肉や野菜がじゅうじゅう焼ける香ばしい匂いも、野外で味わう気分は格別です。それに、飯ごうのご飯も大変じょうずにできあがった！みんなは大いに気分を良くしました。次のチャンスにはもっと火おこしも上手にできるのではないかしら？！

私としては昨年お会いした生徒さん達に再会して、胸の内にほのぼのとした感情がわいてきたのが嬉しかったです。午後３時にお迎えのタクシーが来るまで、歌を歌ったり話をしたり、満腹すぎてシンドイ人もいましたが和やかな時間を過ごしました。そして美帆ちゃんは、今日はなかのしまのコメットとしての活躍でした。また、来年あいましょうね！

アトリエゆうハウスよりこんなお礼状頂きました。

◇11 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*

國友　朝子　４日　　生雲　文枝　19 日

ニコニコ献金　10月　17,000円

〈ニコニコメッセージ〉―　10月例会　―

☆ ありがとうございました。フレンドリーな方達ばかりでとても居心地いい会でした。お声かけくださったらいつでもお伺いします。　（ゲスト演奏者：寺田ちはる）
☆ 初参加です。森祐理コンサートのPRに伺いました。（ゲスト：牧口望）
☆ １０月にしては暑い日々です。寺田様のアコーディオンの調べにクールダウンした次第です。（大阪センテニアルクラブ：三浦直之）
☆ いつもながらにぎやかで明るい集まりに仲間入りできたことに感謝です。（大阪センテニアルクラブ: 山田孝彦）
☆ 寺田ちはるさんのアコーディオン、素晴らしかったですね。特に高原列車はみんなのパフォーマンスで盛り上がりました。（生雲）
☆ ボランティアリーダー堺 YMCA の会長をして活動してくださっている柿本リーダー、友人の正野メン、古い友の牧口望さん、お誘いできて嬉しいです。音楽例会は楽しい、心が洗われます。（今井）
☆ アコーデオンがこんなに美しい音であることに驚きました。ここにギルグさんがいたらどんなに楽しみ喜んだかとお顔をおもいうかべて聞きました。（江見）
☆ 懐かしの楽器に懐かしの曲の数々に”音楽療法”となりました。ステキな夜に乾杯です。（大岸）
☆ 生のアコーディオンの演奏は心に響き本当にとても素敵でした。みんなで楽器を持って演奏して歌いとっても楽しい例会でした！（大橋）
☆ シャンソンに郷愁をさそわれ、ラテンに浮かれて興奮しちゃいました。ワインか何かあればもっと賑やかになった？？（國友）
☆ 今日午前中、教会の幼稚園の運動会でした。ほんとうは先週土曜日でしたが雨で延期となり今日に。いいお天気で暑くて暑くて！子ども達のかわいい真剣な演技に心癒やされました。（杉浦）
☆ 腫瘍が内視鏡の時代なんて思ってもいなく、身体にメスを入れるとばかりで不安だらけでした。数日で普段の生活になり、医学の進歩に感心する日々でした。（瀬島）
☆ 書記のお仕事、楽しいですよ。でも、キャンセルがあるかないか、とてもドキドキして例会日をまっています。今夜も楽しい音楽を！（武井）
☆ 六甲山 YMCA でのバーベキューをぶじにおえることができました。なかのしまクラブのみなさん　ありがとうございました。（武井美帆）
☆ 10月に入ったというのにまだまだ暑いですが、なかのしまはもっと熱いかも・・・。（鳥居）
☆ 楽しく、美しい音色に皆んなニッコリ♪　高原列車では歌声も、そしてナフキンを振り回して笑顔♪1 番は松下さんの笑顔で、嬉しくなりました。（藤好）
☆ アコーディオンコンサートを楽しく聞かせていただきました。（松下）
☆ 懐かしい昭和の歌謡曲を寺田ちはるさんのアコーディオン伴奏で思い切り大声でみんなで歌った。楽しかったぁ！！（吉岡）
☆ 寺田ちはるさんの素晴らしさを皆様に紹介で来て良かった。ファンになった人が沢山出たのでは？　（吉田）
☆ 久しぶりの例会で司会もしなくてはなりませんが、たくさんのお客様でうれしいです。（渡辺）

欠席者メッセージ

☆ 楽しそうなアコーデオンコンサート　行けなくて残念です。コンサートも楽しく、皆で楽しく歌ったようですね、楽しそう（藤井）

YMCA ニュース

★ **第 295 回 早天祈祷会**
日時：2017 年 11 月 17 日(金)7:30～8:30
証し：大里　由恵さん
（大阪ＹＭＣＡ　野外キャンプ事業部　スタッフ）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

★ **合同祈祷週集会 2017**
日時：2017 年 11 月 16 日（木）18：30～20：30
場所：大阪 YMCA　10 階チャペル
参加費：無料（礼拝の中で献金を捧げます）
内容：礼拝並びに交流会
（大阪 YWCA/関西韓国 YMCA/大阪 YMCA）

★ **大阪ＹＭＣＡ大会 2017**
日時：2017 年 11 月 23 日（木・祝）
場所：大阪 YMCA 会館（土佐堀）
内容：＊Ｙアクターフォーラム 10:00～12:00/ 9 階
＊Ｙボランティアの集い 15:15～16:45 /9 階
問合せ：大阪 YMCA 大会事務局（大阪 YMCA 本部事務局内）TEL:06-6441-0894　FAX:06-6445-0297

11 月になるとつい京都や奈良などに紅葉狩りに行きたくなります。さあ今年はどこの紅葉の名所にハイキングやウォーキングに行こうか計画するのも楽しみです。　大橋　昌美

10 月第２例会報告抄

日時：2017 年 10 月 18 日（水）18：30～20：30
場所：大阪ＹＭＣＡ　504 号室
出席者：12 名

1. 11 月３日に開催されるとさぼりカーニバルの準備について、話し合いが持たれた。
2. メネット事業支援金として国際プロジェクト、国内プロジェクトに各々5,000 円、合計 1 万円を献金する。
3. クラブファンド・タイニーバスケットは 7 月～9 月まで、¥16,440 の収入があった。
4. 吉田由美ＣＳ事業主任により、「地域奉仕・環境事業　実施報告書」について説明がなされた。

編　集　後　記

秋たけなわと言いたいところですが，夏から急に冬になったような？そして台風！
でもブリテンの紙面は，しっかり秋の行事満載です。実は載りきらない報告が未だたくさんあります。その内ぼちぼちとご紹介しますね。